

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【公表番号】特表2015-536074(P2015-536074A)

【公表日】平成27年12月17日(2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2015-533161(P2015-533161)

【国際特許分類】

H 04 B 1/16 (2006.01)

H 04 W 56/00 (2009.01)

【F I】

H 04 B 1/16 R

H 04 W 56/00 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線通信システムのうちの少なくとも1つの専用チャネルを復調することに関する少なくとも1つの専用チャネル周波数追跡ループを維持することと、前記チャネルは、ユーザ装置(UE)専用である。

前記無線通信システムの共有チャネルを復調することに関する少なくとも1つの共有チャネル周波数追跡ループを維持すること、ここで前記少なくとも1つの共有チャネル周波数追跡ループは、前記少なくとも1つの専用チャネル周波数追跡ループから分離している

、
を具備する周波数オフセットを低減するための無線通信方法。

【請求項2】

信号対雑音比(SNR)に依存するループ帯域幅を用いて前記共有チャネル周波数追跡ループ及び/又は前記専用チャネル周波数追跡ループをフィルタすること、を更に具備する請求項1の方法。

【請求項3】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ(TS0)以外の少なくとも1つのダウンリンクタイムスロット(TS)のミッドアンブルフィールドを使用する、請求項1の方法。

【請求項4】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ(TS0)のミッドアンブルフィールドを使用する、請求項1の方法。

【請求項5】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、先立ってデータフィールド上のポストイコライゼーション信号を、及び/又は続いてタイムスロットゼロ(TS0)以外の少なくとも1つのダウンリンクタイムスロット(TS)のうちのミッドアンブルフィールドを、使用する、請求項1の方法。

【請求項6】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロット(TS0)の後に送信されたダ

ウンリンクパイロットタイムスロット(D W P T S)を使用する、請求項 1 の方法。

【請求項 7】

無線通信システムのうちの少なくとも 1 つの専用チャネルを復調することに関する、少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループを維持するための手段と、前記チャネルは、ユーザ装置(U E)に専用である、

前記無線通信システムの共有チャネルを復調することに関する、少なくとも 1 つの第 2 の共有チャネル周波数追跡ループを維持するための手段と、ここで前記少なくとも 1 つの共有チャネル周波数追跡ループは、前記少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループから分離している、

を具備する、周波数オフセットを低減させる無線通信に関する装置。

【請求項 8】

信号対雑音比(S N R)に依存するループ帯域幅を用いて前記共有チャネル周波数追跡ループ及び / 又は前記専用チャネル周波数追跡ループをフィルタする手段、を更に具備する請求項 7 の装置。

【請求項 9】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ(T S 0)以外の少なくとも 1 つのダウンリンクタイムスロット(T S)のミッドアンブルフィールドを使用する、請求項 7 の装置。

【請求項 10】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ(T S 0)のミッドアンブルフィールドを使用する、請求項 7 の装置。

【請求項 11】

無線ネットワークにおける無線通信に関するコンピュータプログラム製品あって、

非一時的なプログラムコードをその上に記録した非一時的なコンピュータ読取可能な媒体を備え、前記プログラムコードは、

無線通信システムのうちの少なくとも 1 つの専用チャネルを復調することに関する、少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループを維持するためのプログラムコードと、前記チャネルは、ユーザ装置(U E)専用である、

前記無線通信システムの共有チャネルを復調することに関する、少なくとも 1 つの第 2 の共有チャネル周波数追跡ループを維持するためのプログラムコードと、ここで前記少なくとも 1 つの共有チャネル周波数追跡ループは、前記少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループから分離している、

を具備するコンピュータプログラム製品。

【請求項 12】

前記プログラムコードは、信号対雑音比(S N R)に依存するループ帯域幅を用いて前記共有チャネル周波数追跡ループ及び / 又は前記専用チャネル周波数追跡ループをフィルタするためのプログラムコードを、を更に具備する請求項 11 のコンピュータプログラム製品。

【請求項 13】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ(T S 0)以外の少なくとも 1 つのダウンリンクタイムスロット(T S)のミッドアンブルフィールドを使用する、請求項 11 のコンピュータプログラム製品。

【請求項 14】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ(T S 0)のミッドアンブルフィールドを使用する、請求項 11 のコンピュータプログラム製品。

【請求項 15】

メモリと、

前記メモリに結合された少なくとも 1 つのプロセッサと、を具備し、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

無線通信システムのうちの少なくとも 1 つの専用チャネルを復調することに関する、

くとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループを維持し、前記チャネルは、ユーザ装置（UE）専用である、

前記無線通信システムの共有チャネルを復調することに関する少なくとも 1 つの第 2 の共有チャネル周波数追跡ループを維持する、ここで前記少なくとも 1 つの共有チャネル周波数追跡ループは、前記少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループから分離している、

ように構成される無線通信に関する装置。

【請求項 1 6】

前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

信号対雑音比（S/NR）に依存するループ帯域幅を用いて前記共有チャネル周波数追跡ループ及び／又は前記専用チャネル周波数追跡ループをフィルタするように更に構成される、請求項 1 5 の装置。

【請求項 1 7】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ（TS0）以外の少なくとも 1 つのダウンリンクタイムスロット（TS）のミッドアンブルフィールドを使用する、請求項 1 5 の装置。

【請求項 1 8】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ（TS0）のミッドアンブルフィールドを使用する、請求項 1 5 の装置。

【請求項 1 9】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、先立ってデータフィールド上のポストイコライゼーション信号を、及び／又は、続いてタイムスロットゼロ（TS0）以外の少なくとも 1 つのダウンリンクタイムスロット（TS）のうちのミッドアンブルフィールドを、使用する請求項 1 5 の装置。

【請求項 2 0】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロット（TS0）の後に送信されたダウンリンクパイラットタイムスロット（DwPTS）を使用する、請求項 1 5 の装置。